



8月1日は「水の日」です

水循環についてイベントなどでの啓発活動を実施します



地球上で私たちが使える水は、わずか0.01%

水循環基本法では、毎年8月1日を「水の日」と定め、貴重な水資源や健全な水循環についての理解と関心を深めることを目的に、国や地方公共団体等が様々な啓発活動を実施しています。

横浜市では「水の日」にあわせて、水循環に関する事業を行っている水道局、下水道河川局の2局合同で、私たちが使える水の貴重さや水循環の大切さについて考えていただく機会の一助となるよう、「水循環啓発リーフレット（わたしたちの街をめぐる水）」を作成し、水道や下水道、河川のはたらきなどについて学ぶ主に市内の小学4年生を対象に配布しています。

また、水循環啓発動画をYouTube広告等で発信するほか、令和7年8月1日（金）には、水道局主催イベント「はまっ子水道まつり」にてブースを出展し、広報を行います。

水循環啓発動画

タイトル 「私たちのまちをめぐる水 ～横浜の水循環を知ろう～」

概要 雲や雨、川などに姿を変えながら循環する水が、私たちの生活にどのように関わっているのかを、水道、下水道、河川それぞれのマスコットキャラクターが紹介します



動画イメージ

再生時間 14分58秒

対象 小学校4年生程度から



動画詳細はこちら
(YouTubeリンク)

各種媒体での動画広告

広告用に作成した短尺動画を放映します。

YouTube広告（目標再生数80,000回）

放映期間：7月23日（水）から8月7日（木）

再生時間：30秒

横浜市庁舎低層部用デジタルサイネージ（1～3階のみ）

放映期間：7月21日（月）から8月7日（木）

再生時間：15秒



サイネージイメージ



YouTube広告イメージ

裏面あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



水道局主催イベント「はまっ子水道まつり」へのブース出展

■イベント概要

普段あまり意識することがない水源地や、身近な水道の仕組みなどについて、子どもも大人も一緒に楽しみながら知っていただくイベントです。

日 時 令和7年8月1日(金)10:30~15:00
場 所 横浜市役所アトリウム



イベント詳細は
こちら

■ブース内容

水循環の仕組みや横浜市の取組について、パネルや動画で紹介します。

また、イベント内で実施されるクイズラリーに全問正解することで、水の日の各種グッズが当たるガチャを回すことができます。



昨年度の同イベントでの様子



水の日ガチャグッズの一例
(缶バッジ、シール)

■キャラクターグリーティング

各局のキャラクターが登場し、イベント来場者と一緒に写真撮影を行います。



昨年度の同イベントでの様子

お問合せ先

(水道について)	水道局広報課長	野田 日文	Tel 045-671-3103
(下水道について)	下水道河川局マネジメント推進課長	児玉 吉広	Tel 045-671-2906
(河川について)	下水道河川局河川流域調整課	吉野 文雄	Tel 045-671-2818



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



地球上で わたしたちが使える水の量は?



地球上にはたくさんの水がありますが、
使えるのはたったの

約0.01%

地球上すべての水を
お風呂の水に例えると、
人間が使える水は
スプーン1杯分しかないんだ。

でも、そんな貴重な水は一か所に
溜まっているわけではなく、常に循環している。
どうやって循環しているのだろう。詳しく見ていこう!



SDGsって知ってる?

SDGsとは、みんなが幸せに暮らしていくために世界中の人たちが集まって決めた目標なんだ。横浜の水循環を守ることは地球の水を守ることにもつながっている。わたしたちの取組はSDGsのこれに当てはまるよ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



水循環クイズ

ここまで読んでくれてありがとう。最後に、わたしたち
から問題をだすよ。

これが解けたら、君はもう立派な水循環マスターだ。

問題



リーフレットに書いてある絵や文章をよく見てね。



答えはここをチェック



お問い合わせ先
水道局広報課(水道に関する事)
電話 045-671-3084
下水道河川局マネジメント推進課(下水道に関する事)
電話 045-671-2432
下水道河川局河川流域調整課(河川に関する事)
電話 045-671-4215

発行:横浜市 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

わたしたちの 街をめぐる水



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

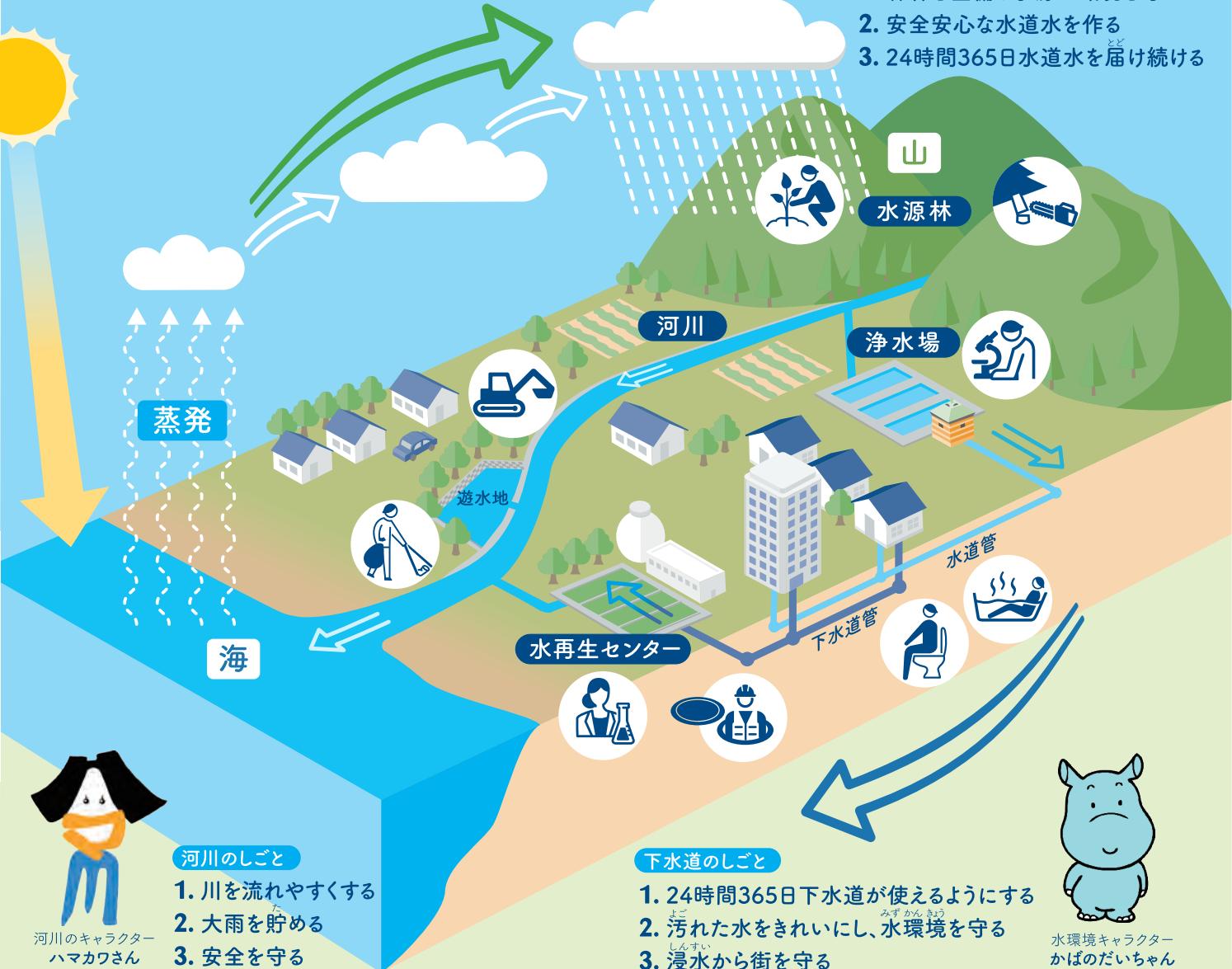


よこはまし みずじゅんかん



水を守る 循環のしくみ

横浜市の水道・下水道・河川のしごと



「詳しい情報は、それぞれの動画を見てね」



水循環 みずじゅんかん

地球上の水は、海や地面などから蒸発し雲になり、その後、雨や雪として地表に戻ってきます。雨などは川になり、一部は水道水として使われ、使った水は下水管を通り、川に戻され海に流れていきます。このように、水はわたしたちの周りをめぐり続けており、これを水循環といいます。



水源林 すいげんりん

水源林は、降った雨の水を蓄える森林のことだよ。水源林の土は、落ち葉や枯れ枝が積もって、スポンジのようになっているんだ。そのため、降った雨は地中にたまり、ゆっくりと浸み込む間にきれいな地下水となり、少しづつ川に湧き出しているんだ。だから晴れた日が続いても川の水はなくなるないんだ!



浄水場 じょうすいじょう

浄水場は水道水を作る施設だよ。川などから取り入れた水は浄水場でいろいろな処理や検査をして、みんなが使う水道水になるんだよ。



水再生センター みずさいせいせんたー

みんなが使った水は地下にある下水管を通して水再生センターにたどりつく。そこで微生物が汚れを分解してきれいにしてから、川や海に戻しているんだ。



河川 かせん

河川では、雨の水などをできるだけ早く海に水を流すための工事や雨を貯める施設の工事をしているわ。川を掃除するボランティアの方々もいるのよ!

